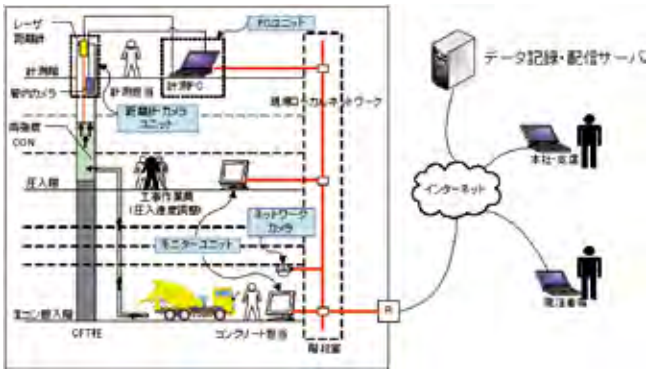
作業所のコンクリート品質管理システムの開発及び実適用

Development and applications of a concrete quality control system for construction sites

山本 新吾　小田 博志　中島 佳奈子

Shingo YAMAMOTO, Hiroshi ODA, Kanako NAKAJIMA

生コン車管理システム図



CFT充填管理システム図

目的

近年、建設作業所における現場管理はICT技術(Information and Communication Technology)の進歩により、数々のシステム開発が行われている。

その中でもコンクリートの品質管理はICT技術と組合せる事により「見えない部分の可視化」、「情報共有」する事で作業所と関連部署の連携による本支店一体となった組織による高度な品質管理を行う事が可能となる。

コンクリートの品質管理手法は工種によってニーズが異なる為、継続してニーズ調査を行いながら研究開発を行っている。

結論

コンクリートの品質管理に関するシステム開発適用事例として、生コン車管理システム、CFT充填管理システム、場所打ち杭管理システム、ダムコンクリート品質管理システムの4システムを紹介した。

作業所からはさらなるコストダウン、省力化、品質向上への期待が大きく、今後その期待に応えるべく、現場ニーズを取り入れながら開発を継続していく予定である。